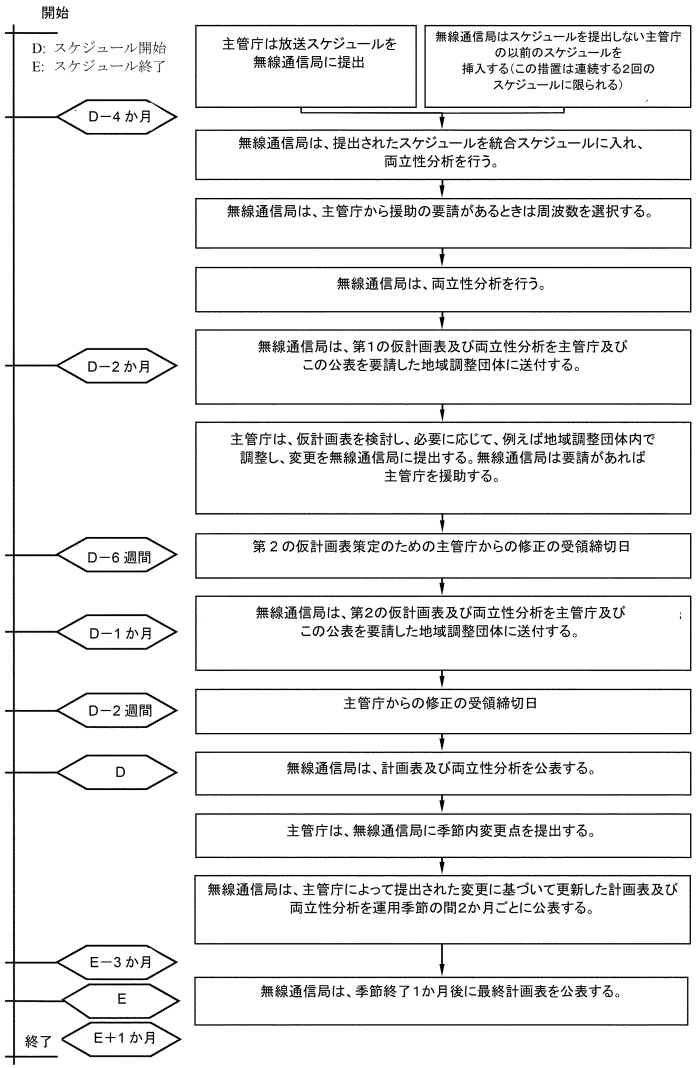
図１は、フローチャートの形で、手続の時間的順序を示す。

図1
手続の時間的順序



記述３
要求に関する入力データの詳細
所定の要求に必要な領域及びそれらの詳細
－　周波数（kHz）。最大５桁の整数。
－　開始時間。４桁の整数。
－　終了時間。４桁の整数。
－　対象業務区域。最大 12 の CIRAF 区域及び４分区間の１組、かつ、最大 30 文字。
－　場所コード。コード一覧表からの３文字のコード又は場所名及びその地理的座標。
－　電力（kW）。最大４桁の整数。
－　最大輻射方位角
－　回転角。最大輻射方位角と非回転輻射方向の差を表す２桁の整数。
－　アンテナコード。数値一覧表から３桁の整数、又は ITU-R 勧告 BS.705 に示されている完全なアンテナ記述。
－　運用日数
－　開始日。スケジュール開始後に要求が開始される場合。
－　終了日。スケジュール終了前に要求が終了する場合。
－　変調の選択。要求が DSB、単側波帯（SSB）（ITU-R 勧告 BS.640 参照）又はデジタル発射（ITU-R 勧告 BS.1514 参照）を使用する場合に特定する。この欄は、ITU-R 勧告において HFBC による使用のために定義されている他の変調方式を識別するために使用することもできる。
－　主管庁コード
－　放送機関コード
－　識別番号
－　他の要求との同時性の識別

記述４
両立性の分析
概要
　雑音がある場合又は同一若しくは隣接チャネルを使用する他の要求からの混信の可能性がある場合に、各要求の性能を評価するために、関連する信頼性の値を計算する必要がある。この目的のため、無線通信局は、所要の信号対雑音比及び信号対混信比の見地から使用者の要求を考慮し、適切なソフトウェアを作成する。
入力データ
　所定の季節のスケジュール。これは、初期の統合されたスケジュール（調整が必要な要求の評価を許容するもの）又は HF 放送スケジュール（関連する季節の間の要求の性能の評価を許容するもの）のいずれかである。
方法及びデータ
　ソフトウェアは以下を使用するものとする。
－　アンテナパターンの計算のために ITU-R 勧告 BS.705
－　各要求についての各テストポイントにおける所要波の電界強度の値の予測のために ITU-R 勧告 P.533
－　各要求についての各テストポイントにおける同一チャネル又は隣接チャネルの他の全ての要求からの混信を生じさせるおそれのある電界強度の値の予測のために ITU-R 勧告 P.533